

科目名	農 業 機 械 学	教員名	おおみち 大道 まさゆき 雅之	開 講 コース	作物生産 花 園 芸	1 年 次	前 期
<p>・目的と内容</p> <p>農業における人間の労働を軽減し、生産性を高めるために種々の農業機械が開発されてきた。現在において、農業機械なしの農業は考えられず、農業機械なしに農業経営を行うことは不可能である。労働の効率化、省力化、低コスト化、環境との調和を推し進め、安全・安心な農産物の生産が求められている。この授業では、エンジン、トラクタなど機械の基本的な原理とともに、各種作業機械について基本構造、作業について講述する。</p>							
<p>・授業計画 [単位数：2 単位、授業週数：15 回]</p> <p>[前期]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本単位系、農業の歴史と農業機械発達史 2. 機械化作業体系 3. トラクタの構造と機能 1 4. トラクタの構造と機能 2 5. 内燃機関の種類と原理 6. 内燃機関の主要構造と性能 7. その他の動力および農業機械 8. 耕耘整地作業機、播種・施肥機 9. 移植機・栽培管理作業機（防除機） 10. 栽培管理機（中耕除草機）収穫調整機 1 11. 収穫調整機 2、その他作業機 12. 機械利用コストの算定 13. 農業機械の利用計画の策定 14. 農作業の安全 15. 北海道農業生産技術体系 							
<p>・講義の進め方</p> <p>テキストに従い、一般的な板書と補足プリント資料の説明による授業を行う。</p>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>逐次レポート・小テストと最終レポート、出欠状況により総合的に成績を評価する。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>現在おかれている農業環境は石油の値上がりを始め厳しい。営農に不可欠な農業機械を効率的に使用し、自分で考えている農業にかかわり、また、よりよい経営のできるの農業者になってほしいと思います。より多くの情報を手に入れるという意味でも、農業機械研修も受講していただきたい。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：『北海道農業入門（農業機械編）』社団法人 北海道農業改良普及協会 参考書：授業内で紹介する</p>							